静岡県議会報告
平成26年夏号

自民改革会議 五輪会
静岡県議会議員 **落合慎悟**

地域の声を県政に反映
ご意見ご要望をお聞かせください。

文教警察委員会　7/15～16　県内視察

委員会視察は7月、1月に県内視察(1～2日)、10月に県外視察(3日)がある。

県立科学技術高等学校

20年度、清水工業高校と静岡工業高校を再編整備しPFI事業で開校した。
全日制、　科学技術Ⅰ機械電気・Ⅱロボット電子情報・Ⅲ建築都市基盤物質・Ⅳ理工科、定員1,122人、　　定時制、　工業技術、定員91人
生徒の授業状況を観ながら各科担当先生から講義内容の説明を受けた。
3Dプリンターで造ったプラスチックモデルや科学実験の研究発表がある。
電気工事士試験の実技や電子機器回路の組立など実務経験も豊富だ。
建築設計図もパソコンでなくドラフタ使い鉛筆で書く。基礎から勉強。

県警刑事部科学捜査研究所

危険ドラッグ(脱法ハーブ)

警察本部刑事部に科学捜査研究所が設置され、科学捜査の鑑定等を行う。
近年のＤＮＡ型鑑定の精度向上で鑑定結果の重要性が高まっている。
法医科は犯行現場の血液・毛髪等資料のＤＮＡ型鑑定。
薬毒物化学科・科学応用科は覚せい剤、麻薬、薬毒物、油類、塗膜鑑定。
物理科は火災・交通事故・銃器・画像・音声・電気機器等の鑑定。
文書・心理科は詐欺、文書偽造等の筆跡・印章・印刷物鑑定と虚偽検出。
25年度鑑定件数、法医科4,565件、薬物化学科3,606件など計12,124件。

県警高速道路交通警察隊長泉分駐隊

新東名高速道路の分駐隊は県内に長泉(長泉沼津IC)、新静岡(新静岡IC)、浜北(浜松浜北IC)の3カ所で東名高速道路も直轄隊と沼津、浜松がある。
県警高速総勢164人で各分駐隊は25人配置される。
パトカー32台、覆面9台、事故処理6台他で県内を網羅する大変な任務だ。
沼津ＳＡからパトカーの先導「パトカーに続け」は「パスのスピード違反」と間違えられそう・・・。隊長の状況説明、隊員からの体験発表は感動した。
発煙筒の火を点ける体験や覆面パトカーの機器操作などを体験した。

東海館・伊東東郷記念館

社寺建築のような望楼を揚げた東海館は、地元材木商の稲葉安太郎が昭和3年に開業し、建物には厳選された銘木が使用されている。
３階大広間は120畳敷きで大きな床の間がある。１階の浴室には唐獅子の湯口があり、地元の彫刻家森田東光の作品である。
平成９年に閉館し、13年から伊東市の観光施設として一般開放している。
伊東東郷記念館は東郷平八郎元帥が晩年過ごした別荘で昭和4年に建てられ、平成8年まで利用された。24年12月より一般開放された。

県立田方農業高等学校・沼津特別支援学校田方分校

田方農業高校には生産化学、園芸デザイン、動物科学、食品化学、ライフデザイン科があり、生徒数は607人。植物バイオテクノロジーを活用した野菜作りや乳牛などの動物の特性や飼育方法、食品の分析などを学ぶ。

委員全員で記念写真
動植物に囲まれ環境抜群

沼津特別支援学校伊豆田方分校は4学級32人。教職員13人。ライフデザイン科セラピーコースと共同授業を行っている。園芸や猫の焼き物も作る。

裾野警察署

平成17年発表の「警察署再編整備計画」に基づき、警察署が設置されていない袋井市と裾野市を対象に23年度磐田警察署から分離し、袋井警察署、平成25年に沼津警察署から分離して裾野警察署が新設された。
警察官103人、行政職員7人、他5人。交番4か所、駐在所2カ所。
1階は県産材使用の吹き抜け、他人に見られたくない相談者にも配慮した入口やトイレもある明るい相談室など機能的で斬新な設計となっている。

静岡県議会・自民改革会議が19年度以降、提案し、制定した条例です。

H21.12 静岡県民の歯や口の健康づくり条例
　歯や口の健康づくりについての基本理念、施策の基本事項を定める。
H23.2　消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例
　消防団の円滑かつ安定的な活動の確保を図るため、活動に協力する法人等に対する事業税の特例を定める。
H24.12 静岡県商店街振興及び活性化条例
　商店街の振興及び活性化を図るため、商業者等や県の責務を定める。
H24.12 静岡県と外国の地方公共団体との友好交流に関する条例
　友好交流に関して、県や県民の責務、友好提携等の締結等に係る議会の議決、交流状況の報告について定める。
H26.2　静岡県中小企業者の受注機会の増大による地域経済の活性化に関する条例
　社会全体で中小企業者の受注機会の増大に取り組み、地域経済の活性化を図るため、基本理念、県の責務、関係者の協力等を定める。
H26.2　消防団の活動に協力する事業所等を応援する県税の特例に関する条例の一部を改正する条例
　事業税の特例の適用期間を２年間延長する。

自民改革会議提案意見書一覧

平成24年
6月 ・東京電力株式会社の電気料金値上げに関する意見書
　・災害廃棄物の広域処理に関する意見書
9月 ・南海トラフ巨大地震対策の推進を求める意見書
　・緊急事態基本法の早期制定を求める意見書
12月 ・Ｂ型肝炎・Ｃ型肝炎患者の救済に関する意見書
　・中小企業の支援策の拡充を求める意見書

平成25年
2月 ・地域医療体制の充実・強化を求める意見書
　・消費税増税時の住宅取得者への対策を求める意見書
6月 ・富士山を後世へ継承する国民運動を求める意見書
　・一般用医薬品販売制度に関する意見書
9月 ・適正な法書人口のための法書養成制度の改革を求める意見書
　・空き家対策に関する意見書
12月 ・難病患者に対する医療費助成に関する意見書

平成26年
2月 ・奨学金制度の充実を求める意見書
　・新聞等に消費税の軽減税率の導入を求める意見書
6月 ・地震財特法の延長に関する意見書
　・「手話言語法(仮称)」の制定を求める意見書

ニュージーランド視察

7月27日～8月2日　畜産・農業・エネルギー産業視察。　天野一県議ら6名で農業国ニュージーランドの現況調査。
成田から飛行時間は約11時間、オーストラリアより南の島。時差は3時間早い。澄み切った空気。紫外線は日本の8倍。
何処までも続く放牧の牧草地帯。国土は日本の3/4、人口440万人、羊3千万頭、牛１千万頭。日本には乳製品、木材、アルミ、果実、肉類、魚介類を輸出、日本の中古車を輸入。

広大な牧草地の開墾には補助金制度はない。全て自費。

オークランド住宅街、物価高い。

日本と同じ右ハンドル英国式。

洞窟に住み、発光し、虫を捕るツチボタル

オーガニック茶園「ジーロン社」 ニュージーランドで椿を見つけた中国人がツバキ科である「茶」栽培の可能と研究し、ウーロン茶の生産を始めた。

ジーロンの茶園は最高級の茶樹の苗を台湾から取り寄せた。
環境に恵まれたこの地でオーガニックにこだわり栽培し、手摘みで上質なものだけを選び、台湾高山茶の製法で加工した薫り高い極上ウーロン茶。
2つの茶園で育て、自社工場で加工・包装している。
第1茶園は3haで4.5ｔ収穫できる。第2茶園は48haで現在10haの収穫。
ビジターセンターとパビリオン、カメリア・ティーハウスが併設されている。

畜産農家「Mark&Sophie Didley Farm」 ニュージーランドでは農場主と酪農運営者は別。乳牛600頭の飼育は大農場。普通農場は300頭。

ロトルア郊外の酪農農家で230haの牧場に乳牛600頭飼育し、牛乳は農協が全量引き受ける。牛乳専門農協は国内に1農協しかない。9割以上輸出。
農場主は牧場が広いので家を5件持っていて酪農運営者にも貸している。
牧場には牛舎は無く、牛は牧草地で寝る。飼料は牧草だけで賄う。だから広い牧場が必要であるが、餌としての経費は掛からない。
子牛は毎日のように生まれる。雄の場合は数日で売られてしまう。

ロトルア文化センター　「テ・プイア間欠泉、先住民族マリオ文化」

北島中央に位置するロトリアには街のそばにロトルア湖があり、周辺の森の中に間欠温泉など地熱地帯がある。
ロトルアは先住民族、マリオの人口が多く、彼らの文化が色濃く残っている。
文化センターには繊細な彫刻の伝統建築物が並んでいる。

省エネ対策関連施設　「Skyline社　スカイラインゴンドラ」

4人乗りのゴンドラはボブズヒル頂上まで7分で到着。ロトルアの街並みが見渡せる。標高は790m。傾斜は37°
ゴンドラ動力や設備の省エネ対策。
汚水排水処理のマネジメント。
ゴミリサイクルマネジメント。
森林保護と計画植林を伺った。

ワイラケイ・テラス「ワイラケイ地熱発電所」　約300度の蒸気、1958年運転開始、出力17万kw、ニュージーランドは7割以上再生可能エネルギー。

北島中央のタウポ火山帯にあるワイラケ地熱発電所は世界で2番目に古い商用地熱発電所で200度の熱水蒸気配管は70kmに及ぶ。
地球内部の熱の移動や放射性物質の崩壊で生み出される地熱エネルギーは膨大かつほぼ無限。CO2の排出は極めて少なく、発電に使った地下水は冷却され再び地下に戻される。24時間安定供給可能な発電電力である。
地熱が総電力の13%。2025年までに再生可能電力を9割にする計画。

地熱利用「エビ養殖所ブラウンパーク」　地熱発電所の廃温水でエビを養殖、釣堀と施設内エビ専門レストランを経営。エビはレストランですべて使う。

アクアテックファーム社が1987年に設立した。国内唯一のエビ養殖所。
地熱発電所のシリカを含む廃地熱水を熱交換でワイカト川の水を20度に加熱し、エビ養殖に利用している。
エビは雄一匹に雌7匹で家族構成される。縄張り争いも多くあるそうだ。
レストランでエビを沢山食べてから釣堀でエビ釣りをし、一匹だけ釣れた。
観光としてエビ活用研究。粉餌を手に、水槽で小エビが飛びつき面白い。

オーガニック果樹園「ワイトモオーチャード」　拘りの無農薬キウィフルーツ果樹園で栽培方法を伺う。雄木(ざらざら枝)、雌木を知った。

ワイトモのキウィフルーツ果樹園では無農薬にこだわった栽培をしていた。
キウィフルーツの木には実のならない雄木と実を付ける雌木があることを知った。枝がざらざらしているほうが雄木である。木は雄雌交互に植えてある。
４haの農園には梨、プラムリンゴも栽培し、100頭の肉牛も飼育している。
野菜直売所も併設している。
直売所の隣では経営者の弟が農園管理と自動車修理も行っていた。

オークランド日本国総領事訪問

オークランドの繁華街にあり、旅券・各種届出・VISA等の窓口業務を行う。
総領事の稲留さんから説明を受けた。政治は立憲君主国で元首はエリザベス二世女王。総督はジェリー・マテパラエ(5年任期)。議会一院制121名。
領事館はオークランドに暮らす日本人のために様々なサービスや活動に有益な情報を迅速に提供している。また、日本との交流を深めるための広報文化事業も行い、オークランド大学構内で月例映画会を開催している。

オークランドジェトロ訪問

ニュージーランドのGDPは18兆円と少ないが、一人あたりのGDPは日本384万円に対し404万円と少し多い。1次産業7%、2次産業20%、3次産業65%、その他8%と3次産業のウェイトが高い。
貿易相手国は輸出輸入とも中国がトップで20%を占め、最近の関税下げで急激に伸びている。
日本への輸出はアルミ、木材、酪農製品、肉類、果物、タンパク質、食品、魚介類の順である。
日本からの輸入は輸送用機器(中古自動車)、機械機器、電子機器、ゴムなどである。
道路交通が日本と同じ右ハンドルだから中古車が人気である。自分で整備して使っている。